

第48回 経営協議会 議事要旨

日 時 平成22年6月8日(火) 10:00～12:30
場 所 事務局第3会議室(4階)

- 議題1．平成21事業年度に係る実績報告及び第1期中期目標期間に係る確定評価について(資料1)
議題2．平成21年度決算(案)等について(資料2)
議題3．平成23年度概算要求及び平成22年度学内予算配分(案)について(資料3)
議題4．平成22年度教育研究環境改善事業等及び平成23年度施設整備費関係概算要求事業(案)について(資料4)
議題5．国立大学法人鹿児島大学における病院特例常勤職員に関する規則(案)の制定及び制定に伴う関係規則の一部改正について(資料5)

- 報告事項1．平成21年度卒業者・修了者の進路状況等について(資料6)
報告事項2．平成22年度鹿児島大学入学状況(学部及び大学院)について(資料7)
報告事項3．医師国家試験等合格率一覧について(資料8)
報告事項4．平成22年度会計監査人候補者の選定結果について(資料9)
報告事項5．記者発表事項等について(資料10)

その他

[出席委員] 10名

吉田学長
(理事)島、前田、盛本
(学内委員)高松
(学外有識者)辰村、中村、永田、林、萬田

[欠席委員] 4名

(理事)河原、阿部
(学外有識者)石窪、岡積

[オブザーバー]

(監事)坂東
(副学長)萩野、馬場、安部
(学長補佐)小栗、山本、新森、門、坪内、初井、富永

[事務局]

(部長)後藤、南須原、野崎、萩元、山本、長友
(課長)鵜飼、川西、執行、野頭、松田、永田、佐藤、神之門、岩下、上村、折田、上國料、瓜生

初めに学長から、経営協議会委員、監事、副学長及び学長補佐の紹介があった。

議題 1 . 平成 2 1 事業年度に係る実績報告及び第 1 期中期目標期間に係る確定評価について (資料 1)

学長から、平成 2 1 事業年度に係る実績報告及び第 1 期中期目標期間に係る確定評価について諮られ、島理事から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、島理事から、第 2 期中期目標期間における評価に関しては、第 1 期に各法人において評価実施体制が整備されたこと等を踏まえ、暫定評価の廃止、年度評価の簡素化など評価負担の軽減を図る方向で検討がなされていることの報告があった。

さらに学長から、大学憲章に定める進取の気風を養うための教育の展開に関し、平成 2 2 年度中に教育シンポジウム、教職員ワークショップを経て教育プログラム等を整備し、学生に関しては、同年中に学生行動の指針となる学生憲章を策定することとしている旨の説明があった。

その他、次のような意見があった。

- ・男女共同参画の基本理念を教職員・学生へ啓発し、具体的な取組を推進してほしい。
- ・目標・計画は具体的表現とし、目標を定めるための研修もあっていいのではないか。
- ・判断・評価の基準を明確にしてほしい。

最後に学長から、第 1 期においては中期目標・計画が多かったが、第 2 期に関しては、目標数を絞り込み、戦略をもって取り組んで行く旨の発言があった。

議題 2 . 平成 2 1 年度決算(案)等について (資料 2)

学長から、平成 2 1 年度決算(案)等について諮られ、盛本理事から概要説明の後、財務課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、各大学の経営状況が判断できる指標があるかの質問があり、財務課長から、国立大学財務・経営センターが各大学からの財務諸表を基に独自にデータ分析し、公表は行っているが、経営状況を判断できるまでには至っていない旨の説明があり、財務部長から、財務諸表の公表の際は、別途決算の概要、決算分析資料等を添付して一般の方にも分かりやすいものとした旨の補足説明があった。

また、国立大学の行政コスト(税金でまかなっている費用)に関し、国立大学全体の基準があるかの質問があり、財務部長から、総合大学、単科大学、附属病院のある大学など様々なため、一律した基準は設けられていないが、これらが公表されることにより、今後は使われた税金の用途を含んだ説明責任が伴ってくる旨の発言があった。

その他、病院収入、知財収入の増に力を入れていただきたい、病院経営のプロのチームを配置するのもよい等の意見があり、盛本理事から、本年度から、病院会計区分を本学と分けて経理し、病院独自に運営出来るようにしたこと、また安部副学長から、本学の知財状況について説明があった。

最後に学長から、全国の大学病院は経営改善に努めているが、経営上の比較に関し、各大学病院において経理区分の整理方法が様々であり、一律に比較できないことから、国大協でも統一した経理区分を検討していること、また、知財に関し、地域と大学が一体となって取り組める制度を推進していきたい旨の発言があった。

議題 3 . 平成 2 3 年度概算要求及び平成 2 2 年度学内予算配分(案)について (資料 3)

初めに学長から、平成 2 3 年度概算要求について諮られ、盛本理事から概要説明の後、財務課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、平成 2 3 年度概算要求に関しては学長一任となった。

なお、大学としての組織改革の見通し、検討状況に関し質問があり、盛本理事から、現在、各学部・各研究科に対し、定員の見直し及び進む方向性等に関し、可視化による検討を依頼し、大学としても学長の下にヒアリング等を実施し、定員の見直しを含め検討中であるが、今回の概算要求には計上できなかった旨の説明があった。また、学長から、より一層の組織改革を念頭に 2 4 年度概算要求には計上できるようにしたい旨の説明があった。

引き続き、学長から平成 2 2 年度学内予算配分(案)について諮られ、盛本理事から概要説明の後、財務課長から資料に基づき説明の後、学長から前回の経営協議会に示した金額に追加措置した学長裁

量経費について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、平成22年度予算を示した表に関し、21年度及び22年度の予算が記載されているが、ここに21年度実績を追加記載し、また、大きく増減した事項に関しては、その内容を備考欄に記載するともっと見やすくなり、評価がしやすくなる旨の意見があり、盛本理事から、意見を踏まえ今後は整理し、提案したい旨の発言があった。

また、学長裁量経費の緊急的措置が必要な事項への支援は何を想定しているかの意見があり、学長から、不測の事態や今後、平成22年度の目標達成上必要となる経費等を想定している旨の説明があった。

議題4．平成22年度教育研究環境改善事業等及び平成23年度施設整備費関係概算要求事業（案）について（資料4）

学長から、平成22年度教育研究環境改善事業等及び平成23年度施設整備費関係概算要求事業（案）について諮られ、盛本理事から資料に基づき説明があり、審議の結果、評価に基づく事業の実施及び概算要求に関しては、学長一任となった。

議題5．国立大学法人鹿児島大学における病院特例常勤職員に関する規則（案）の制定及び制定に伴う関係規則の一部改正について（資料5）

学長から、平成22年度から免許・資格を有する医療関係従事者について、全員退職手当を支給しない病院特例常勤職員として採用し、健全な病院経営の維持を図ることを目的とする国立大学法人鹿児島大学における病院特例常勤職員に関する規則（案）の制定及び制定に伴う国立大学法人鹿児島大学職員就業規則、国立大学法人鹿児島大学職員退職手当規則の一部改正について諮られ、人事課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項1．平成21年度卒業生・修了者の進路状況等について（資料6）

学生部長から、平成21年度卒業生・修了者の進路状況等について、資料に基づき報告があった。

報告事項2．平成22年度鹿児島大学入学状況（学部及び大学院）について（資料7）

学生部長から、平成22年度鹿児島大学入学状況（学部及び大学院）について、資料に基づき報告があった。

報告事項3．医師国家試験等合格率一覧について（資料8）

学生部長から、医師国家試験等合格率一覧について、資料に基づき報告があった。

報告事項4．平成22年度会計監査人候補者の選定結果について（資料9）

盛本理事から、平成22年度会計監査人候補者の選定結果について、資料に基づき報告があった。

報告事項5．記者発表事項等について（資料10）

学長から、本学の最近の主な記者発表事項等について報告があった。

その他

なし

次回の経営協議会は、平成22年9月22日（水）13：30から開催することとなった。